



ふれあい

第71号
2025 年(令和 7 年)
9 月 12 日

発行
長房地域住民協議会
八王子市長房町506-2
八王子市長房市民センター
☎042(664)4774
(公財)八王子市学園都市
文化ふれあい財団

わくわくどきどき ふわふわくじら



南浅川で令和7年ふれあい端午まつり開催



欲しいものがいっぱい



長房話題★あれこれ



子供に人気の綿菓子店



青空に映える鯉のぼり



消防自動車に乗車体験

開催するための準備は大変でしたが、改めて楽しみにしている人たちがたくさんいたことを実感し、苦労が報われた気がしました。

これから地域住民が協力し、快適で、やすらぎと潤いのある地域社会を目指し、イベントを通して親睦を深めてまいります。

開催するための準備は大変でしたが、改めて楽しみにしている人たちがたくさんいたことを実感し、苦労が報われた気がしました。

これから地域住民が協力し、快適で、やすらぎと潤いのある地域社会を目指し、イベントを通して親睦を深めてまいります。

今年も南浅川橋から横山橋までの間に、川渡し鯉のぼり四流と竹竿鯉のぼり四十本、園児の鯉のぼり百二十匹など約五百匹の鯉のぼりを掲揚しました。

鯉のぼり掲揚後、保育園や幼稚園、老人ホームの方が連日訪れて、青空に舞う鯉のぼりに歓声や笑顔が見られ、大いに楽しんでいました。

長房市民センターでは「よろいを着て写真撮影・手裏剣投げ体験」に百人の親子連れが参加して楽しんでいました。また「お花の教室・ハーバリウム作り体験」が好評で、百八十個を子ども達にプレゼントしました。

体育室では「ふわふわくじら水族館」を設置して、参加者千六人と多くの親子連れが訪れて大好評でした。南浅川河畔の鯉のぼりの下では、地域住民が模擬店を出店し、どの店も大盛況で熱気に包まれていました。

今年も南浅川橋から横山橋までの間に、川渡し鯉のぼり四流と竹竿鯉のぼり四十本、園児の鯉のぼり百二十匹など約五百匹の鯉のぼりを掲揚しました。

鯉のぼり掲揚後、保育園や幼稚園、老人ホームの方が連日訪れて、青空に舞う鯉のぼりに歓声や笑顔が見られ、大いに楽しんでいました。

長房ふれあい端午まつりを振り返って

長房地域住民協議会会長 岸 弘文

★長房地域住民協のホームページ……「長房市民センター住民協議会だより」で検索してください。

地域住民の安全・安心をめざして

青パトってご存じでしょうか。

青色回転灯を装備した自動車による「自主防犯パトロール」のことです。

私もこの活動に参加するまでは、警察署員がパトロールをしているものと思っていた。

実は八王子市が警察署や交通安全協会と連携して行っている青パトとは別に、高尾防犯協会と連携して、自治会・町会の人達も担当地域の防犯パトロールをしています。

前者の青パトは白と黒の車ですが、後者は宝くじからの支援を受けて購入した灰色と水色の「宝くじ号」です。

この車に乗り、地域住民の防犯意識を高め、犯罪の抑止や子どもの見守り活動を目的とするボランティア活動です。

横山北地区の自治会・町会は2月と7月が当番月になっています。日曜日と祝日、催事がある日を除いてほぼ毎日、3グループに分かれて担当地域のパトロールを実施しています。

青パトに乗るためには、警察の講習を受けることが義務付けられています。ご協力できる方は是非このボランティア活動に参加してみませんか。

今後も地域住民が安全・安心な暮らしができるように努めてまいります。



宝くじ号で出発



★ 前回、4月のふれあいウォークは
鎌倉街道山の道・小田野城・心源院を散策★

長房ふれあいウォークへのお誘い

15 回目になります。「長房周辺散策記」の読者をお誘いして歩きます。

南浅川は小仏川と案内川が落合で合流して流れがはじまります。川沿いの散策!!

○日時：10月25日(土)
(雨天延期別途お知らせ)

○集合：高尾山口駅前、10:00

(バス：高尾山口行き、9:24 高尾警察署前)
○コース：高尾山口駅→高尾山ふもと公園→
氷川神社→金南寺観音堂→古淵→
地藏堂→ JR 高尾駅(解散)

○参加：予約不要、参加費無料
(交通費自己負担)

○長房住民協議会の活動として長房町会の伊藤完がご案内します。
(ウォーク資料は用意します)



八王子城の支城で
小田野源太左衛門が
城主の小田野城跡

松姫が甲州から逃れて
身を寄せた心源院の
枝垂桜

参加された皆さん



長房市民センター前の川、南浅川を散策しませんか。
この川ができたのは高尾山が太平洋プレートに押し上げられて隆起し、生藤山につながる丹沢山塊のような山並みができたと約1億5千万年前（丹沢山塊は7千万年前）で小仏積層群が形成されました。永い間に風雨、4周期にわたる氷河期などを経て侵蝕され、標高千メートル以下の山と広大な扇状地に変わってきました。
その台地をさらに風雨や湧水が侵蝕して、南から大栗



高尾山ふもと公園



長房 周辺 散策記37

南浅川の川沿いを散策

長房町会 伊藤 完



両界橋

川、湯殿川、南浅川、城山川、北浅川、川口川、多摩川などの流れができました。
その中で南浅川は高尾山の琵琶滝がある「前の沢」と合流する大垂水峠、梅ノ木平から流れてくる「案内川」と小仏峠から流れてくる「小仏川」が落合で合流してスタートします。
ちなみに陣馬山和田峠から北浅川に流れる川を「案内川」といいます。「案内」とは仏教用語で経典を詠む机の意味があります。
それで高尾山聖域の内と外を表しています。



改修工事後の陵南大橋下

京王線高尾山口駅の近く「案内川」沿って「高尾山ふもと公園」ができています。
伐採したケヤキを活用したベンチなどが置かれて人気スポットになっています。
小名路の両界橋から中央線のレンガ造りの隧道をくぐると古淵（獅子淵とも）になります。古淵は西方向から段差がついて合流箇所から続き、二つの川が合流し、水量調節のため堰が造られました。また川の流れと岩が織りなした景勝地でもありました。
北側に旧花屋旅館があり江戸時代後期の創業と伝えられ、与謝野鉄幹・昌子、野口雨情などの歌人が宿泊したそうです。



石が積まれて平らになった川底

堰から引かれた水路は町田街道を暗渠でくぐり旧甲州街道へと流れます。
（止まることもありますが現在も流れています）
川は両界橋（高尾山の聖界と河原宿俗界を繋ぐ橋とされる）から金南寺東側、北方向に弧を描くように迂回します。
昔は甲州街道に沿った流れで、河原宿がいつも洪水被害に遭うため、郷士の設楽左工門が一六五〇年（慶安）頃、私財で7年の歳月を費やし治水工事を手掘りで行いました。この時に根を張らせて土岸の水難に強い「サイカチの木」を南浅川沿いに多数植えたと言われています。
残念ながら現在残っているサイカチの木は南浅川橋（御陵橋）北側の一本だけ（貴重です）になってしまいました。
浅川市民センター北側から甘里町へと比較的多い水量の流れが続きます。粘板岩の岩盤状の川底が保水し

ところどころに岩が顔を出しています。
ここは北条氏照が滝山城に武田信玄からの攻撃を守る出城として「甘里の砦」を築きました。南浅川が守りの要、堀の役目を持たされています。
高尾街道の陵南大橋がかかる付近の河川工事が終わり、両岸に石が積まれ川底が平らになりました。
今までの葦が茂った中洲が削られきれいな河川に変わりました。
東京都南多摩西部建設事務所が行った美観と流れの抵抗を避ける工事でした。
（今号はここまでとして、次号で下流へと続けます）

楽しい催しがたくさん ふれあい端午まつり



ジャンプ！ ジャンプ！

コミュニティ振興課からお借りしたエア遊具の「ふわふわくじら」を体育館に設置しました。

エアの上でジャンプすると、地上でやるよりも身が軽くなって高く跳べ、遊び心を刺激します。

たくさんの子供たちに人気で、跳ねたり走ったりと思いいの方法で楽しんでいました。



世界で一つのハーバリウム
市民センターで活動している「お花の教室」主催で、ハーバリウム作りが行われました。
たくさん並べられたドライフラワーや貝殻などからお気に入りの物を選び、専用オイルに浸して瓶に入れます。
どれにしようかなとわくわくしながら選び、素敵な作品が完成しました。



瓶に詰めれば完成



どれも欲しいものばかり

楽しいお店がいっぱい

出店の中にくじ引きやゲームコーナー、飲食店等が設けられました。
夏祭りといえば定番の綿菓子も、今年も人気でした。

何が当たるかわくわくのくじ引きやゲームコーナーも人気でした。



力作揃いの手芸品の数々

民生委員OB主催の店には、毛糸や布で作られたぬいぐるみ・つるし飾り・キーホルダー・花など一針一針丁寧に縫われた多種多様の作品がありました。
見ているだけでも楽しいし、買うとなれば、何にしようか迷ってしまうほどの力作揃いでした。



どれにしようかな



大きさや色別に分けた鯉のぼり



川に入っの作業

八王子陵東自治会

塚田あけみ

準備に感謝、感謝
4月14日から3回に渡り準備を行いました。倉庫から出した多数の鯉のぼりを大きさや色別に分け、上・中・下流に分類しました。前日までの雨で水量が多かったため、川渡しは苦労しました。多くの皆さんの協力があった端午まつりです。